九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

精神科疾患を併存する自閉スペクトラム症者への主観的適応支援に関する臨床心理学的研究

面髙，有作

https://hdl.handle.net/2324/1931679

出版情報：九州大学，2017，博士（心理学），課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（4）

氏　　名	面髙　有作			
論　文　名	精神科疾患を併存する自閉スペクトラム症者への主観的適応支援に関する臨床心理学的研究			
論文調査委員	主査	九州大学人間環境学研究院	教授	遠矢浩一
	副査	九州大学基幹教育院	教授	田中真理
	副査	九州大学人間環境学研究院	教授	大場信惠
	副査	九州大学人間環境学研究院	准教授	古賀　聡

論文審査の結果の要旨

本論文は，精神科疾患を併存する自閉スペクトラム症（ASD）者の主観的適応支援のあり方について，数量的研究と事例的研究，によって検討したものである。

大学生を対象とした調査では，「社会的スキル尺度」，「一般性セルフエフィカシー尺度」，「苦手だと感じる友人関係の状況調べ」の各質問紙を用い，それぞれの信頼性と因子的妥当性を確認したうえで分析し，グループ内にはコミュニケーションを得意とする群と不得意とする群が混在していることを見出している。また，大学生を対象とした実践と精神科疾患を併存するASD者を対象とした実践を行い，それぞれの比較から心理的援助の方針や展開の共通点や相違点を明らかにしている。さらに，社会生活適応が困難な状態にあるASD者の支援に主観的適応を含めた生活機能のとらえが有効であることを示すとともに，具体的な支援方法を提示しており，精神科疾患を併存するASD者の社会生活適応を高める支援を展開するうえで大きな貢献をなしうる研究として高く評価される。よって，本論文は博士（心理学）の学位に値するものと認める。